

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月11日 (2014.12.11)

【公開番号】特開2013-132472(P2013-132472A)

【公開日】平成25年7月8日 (2013.7.8)

【年通号数】公開・登録公報2013-036

【出願番号】特願2011-285862(P2011-285862)

【国際特許分類】

A 6 1 M 11/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 11/02 K

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

圧縮空気導入管 9 1 3 に導入される圧縮空気としては、圧力損失を見越した上で、エアロゾルの生成に必要な圧力を十分に備えた圧縮空気が、予め準備される必要がある。したがって、ネブライザキット 1 0 0 0 Z のような従来のネブライザキットにおいては、大きな流量を有する圧縮空気を生成するために、容量（流量）および大きさの大きなコンプレッサー等を用いることが必要であった。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 7 2】

[実施の形態 2 5]

図 5 8 および図 5 9 を参照して、本実施の形態について説明する。本実施の形態におけるネブライザキットは、上述の実施の形態 2 2 における粒子選別部 3 0 0 G（図 4 6 等参照）の代わりに粒子選別部 3 0 0 K を備え、流路形成体 4 0 0 G（図 4 6 等参照）の代わりに流路形成体 4 0 0 K を備える。